

絶望なんて
しな
い

成年向



何度繰り返しても――

同じ結末――



カチャ

キョウ

ごめんね……
まどか……

私……
疲れちゃった
んだね……

おかしいな……
涙が……出ない……

一人で戦い
続ける事に……

ほお……

だから
きつと……

嘘でも
いいから……

誰かに頼りたく
なっちゃった
んだね……

の……

絶望なんて
しない

乃良紳二



おじさん
嬉しいなあ...

君みたい
若くて可愛い
女の子が

部屋に遊びに
来てくれる
なんて...



こんな私の事...

許して
くれる?.....

へえ...ほむらちゃん
って言うんだ...
カッコイイ名前
だねえ...

何かこう...
燃え上がれ...
って感じてさ...



嫌な事は
忘れて...

今からおじさんと
たくさん楽しもう
ね...♡

はあ...
はあ...



お譲ちゃん
その服可愛い
ね...

必ず同じ
質問をする

...何かの
コスプレ
かな?

そして
私は無視を
する

いつもの私なら——



おじさんは
いつも...

同じ日！
同じ時刻！
同じ場所で...

...やる...

は...

...やる...



なくんて
言っても

信じて貰え
ませんよねっ



これは
コスプレじゃ
ありません。

魔女と戦うための
戦闘服です。



私達魔法少女は…
この世界に絶望を
もたらす魔女の
手から…

人々を守るために
日々戦っているん
です。

誰にも知られる
事なく…



どれどれ…
恥ずかしそうに
閉じてる部分も…

ちゃんと開いて
確認しなきゃね♡



ほら…もつと
腰を浮かせて…
突き出すように…

こ…こよう
ですか？

あくそうそう…
いいよほむら
ちゃん…

ぶつくりして
柔らかそうなの
おまんまだあ…



ほお…
艶々して綺麗な
ピンク色だねえ…

穴も小っちゃ
くて…

あぁ…♡

…おや？
こ…これは
…っ!!

ほむらちゃんっ!!

ほあ! ほあ!

きつ...君っ!!
まさかつ処女
なのかい!?

きやつ!

かほあ!

えっ?
はっ...はいっ
そうですけど...

おおっ!!
素晴らしいっ!!

あーもう
おじさん
たまらんよお!!

あーもう
おじさん
たまらんよお!!

んっ
んんうっ!

え?...
信じてくれる
んですか?

ああ
当然じゃ
ないか

おじさんは
君の味方さ

ただ...ちよつと
疲れてるんじゃ
ないか?

顔色
悪いよ?

は...はあ...
まあ...

絶対にそう
だよ

よしっおじさんが
君を楽しませて
あげよう

そ...そういう
ものでしょうか
.....

え...
でも...



フフフ...
楽しんでる
ようだね
ほむらちゃん...

さあて...
そろそろ挿れ時
かなあ...

だってほら...
舐めても舐めても
エッチな汁が
溢れて来るよ?

え...
そ...そんな...
別に...

ん...



奥まで濡れてて
最高に気持ち
いいよっ!

おほおっ!!
さすがに締まる
ねえっ!!



あ...あの...

最初は
ゆっくりお願い
します...

ほむらちゃん...
こういうのはねえ...



勢いが
大事なのさっ!!

ひぐううう
ううっ!!

ああああっ!!



乱暴に挿れた
けれど...

思ったほど
痛くなかった...

でも...

私がおし...
普通の女の子
だったから...

もつと...
痛かったん
だからって...



そう思ったら...
ちよつとだけ...
寂しかった...

ねえ
ほむらちゃん...
おじさんの
おちんちん...
中で滑ってるの
分かる？

ほら...
いやらしい
音も聞こえる
だろお？

んん...?



けど...
その代わり

普通の
女の子より...

何倍も...

ほ...っ!
ほむらちゃん!
射るよっ!?

膣内
に
射ちやうよお
おおっ!?

ふええつ



あああああああ
あああ……

何倍も……
気持ちいいん
だらうなって……



おっと……
すまんすまん

たまには
息抜きも
いいかなって……

そう
思った……



おじさんっ
……重い……

だからー



潮まで吹いて……

気持ち良かった
かい？ほむら
ちゃん……

もう何日が過ぎた
だろうー



ほむらちゃん
のフェラが目覚まし
換わりだなんて

おじさん
幸せだよ...

それにしても
上手になった
よねえ

ふえ?
ほおれふか?



ああ...すごく
いやらしい
舌使いたよ...

おじひやんの
教え方が
だけやらしい
だけれふ...



あれから...
結局おじさんの
部屋に入り浸って

学校にも
行かずに...

四六時中
エッチな事ばかり
してる...



まどか...
今頃どうして
るかな...





こぼれたのも
綺麗に舐め取るん
だよ...

んぶっ！

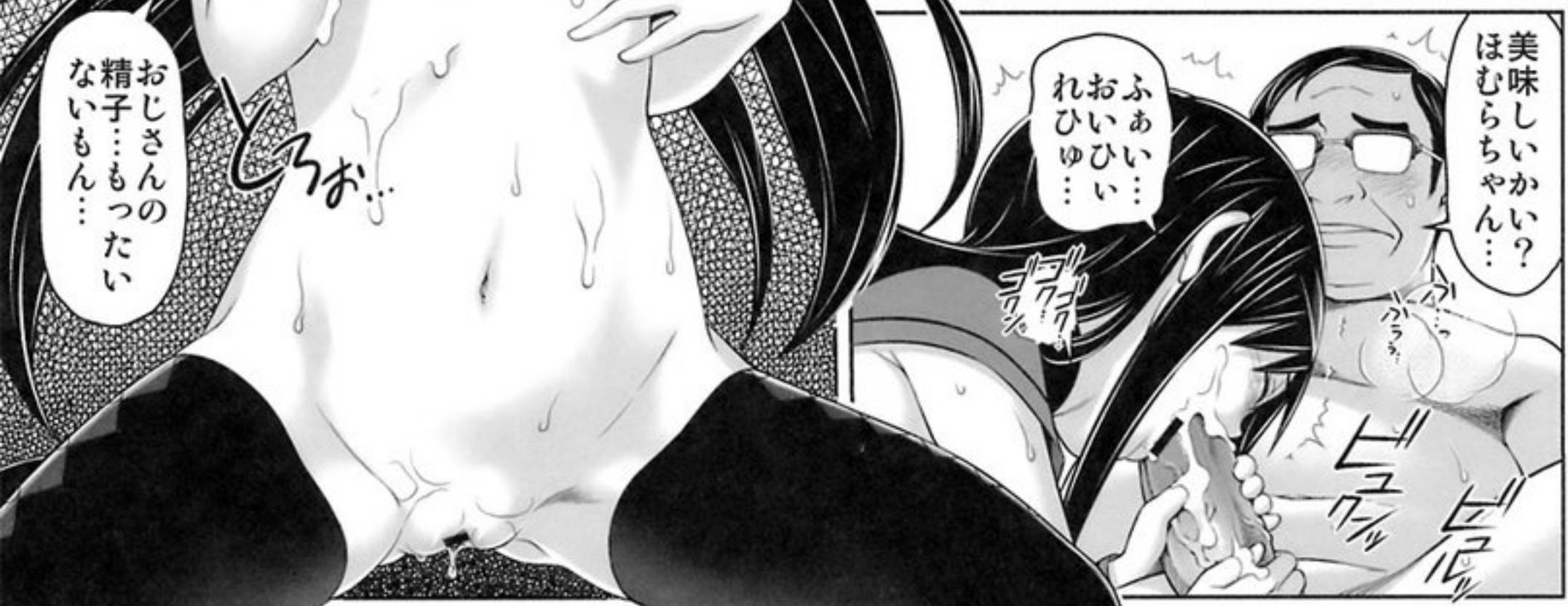
んんう...
今日もたくひやん
れまひたね...♡

分かってます
よお...

れん

はまー♡

いんゆ



おじさんの
精子...もった
ないもん...

しるお...

ふあひい...
おひい...
れひい...

美味しいかい？
ほむらちゃん...



今日もたつぷり
楽しめそうだ

くは...

ふむ...
十分に濡れて
るね...

濡れ具合を
見せてごらん

さあ立って...



お...っ
うふうう
く.....

むいゅっ

キツいねえ...



さあ...おじさんの
おちんちんを
気持ち良くして
おくれ...

は...



魔法少女は...
永遠に少女の
ままなんです...

は...
は...

へえ...



でも不思議
だなあ...
ほむらちゃんの
おまんこ...

締まり具合が
最初の時と全く
変わらないん
だよ...

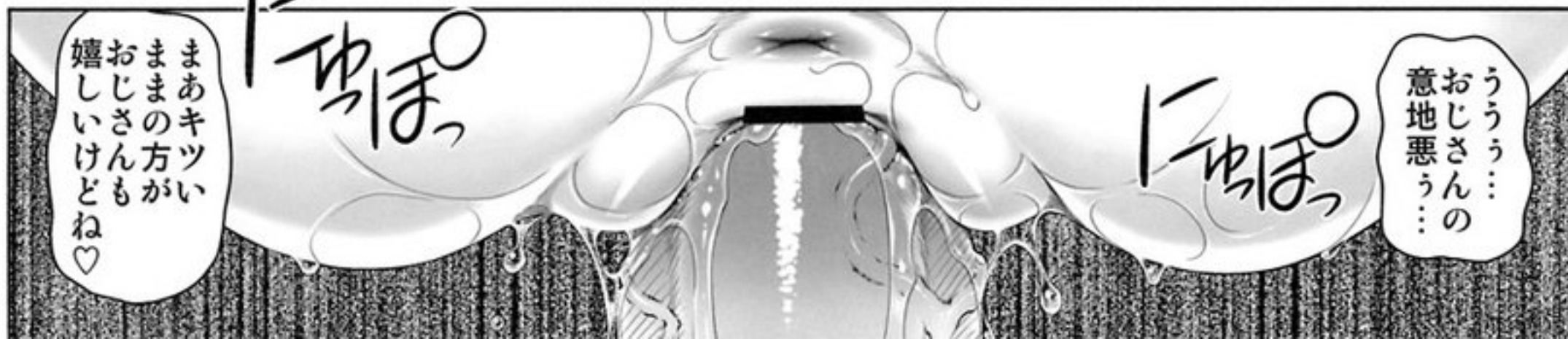
もう何十回も
してるのに...



ひやうっ!

乳首をこんな
固くしちゃう
変態娘が...

少女ねえ...



ううう...
おじさんの
意地悪う...

まあキツい
ままの方がい
おじさんでも
嬉しいけどね♡

魔法少女は…
永遠に少女のまま
なんです…

絶望しない
限り…

そのために…
忘れたくないん
です…

彼女の事…

だから
おじさん…
お願いですから…

ふあああつ
来るうううつ！

これ以上
私を…

おじさんの
精子いいい…

ほむらの子宮に
ビュクビュク
入って来てるう
うううううう！！

いやらしい子に
するのは…
やめて下さい…



すごおおく
喜んでますう
うう~~~~っ!

ほっ::ほむらの
お尻の穴あつ!

おじさんの
生ちんぽが
挿って来てえっ

フフフ:
そんな大きな
声出して...

誰かにも
聞かれないよ?



あつ

あつ

あつ



どうだい?
パイプより気持ち
いいかい?

はっ:
はい:

はあ

はっ

そう:

じゃあ今の
気持ち叫んで
みようか:



そらっ!
ちゅっ

そらっ!
ちゅっ

あひやああつ!
嬉ひいれすう~♡



ひやああつ!

ふうう~~~~っ
今日の
ほむらちゃん
すごくエッチ
だから:

おじさんも
興奮して
来ちゃった
よ♡



ねえ:
まどか:

ごめんね.....

私...もう...

おじさんのおちんちんから離れられないよ...

おやおおっほむらちゃんのケツ穴っ!! キュッキュツってしてるよ!

はあ

ほ

ほ

NOチッ!

キタ

NOチッ!

おじさんもおっ!! イクよおっ!!

もうイキそうなんだね!?

チッ!

チッ!

だから...

チッ!

このまま...

あ

お...おほっ...お...お...最高...

魔女になるまで...おじさんと.....

ほひやあああああああ

ほむらあああ...お尻の穴でえ...イツひやいましたあああああ...♡♡♡







最高の
友達です。

私の…

ありがとう…まどか…
私…絶望なんてする必要なかったんだね…



だって私…
今…

まどかと
一緒にいて…

ふひゅうく…
良かったよ…
まどかちゃん…

ほあ…
ほあ…

本当に幸せだから
そう思えるから…

お読みいただき
ありがとうございました～！

奥付

Kさん
ありがとうございました

発行: pooca 著者: 乃良紳二
URL: <http://pooca.air-nifty.com/blog/>
発行日: 2011年12月31日(コミックマーケット81)
印刷所: 株式会社サングループ
この本の無断転載、複製、配布を禁じます。

おしまい

絶望なんてしない

“魔法少女まどか☆マギカ” fan book
presented by poooca
<http://poooca.air-nifty.com/blog/>
December 31,2011